



平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年5月14日

上場会社名 横浜冷凍株式会社

上場取引所 東

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長

(氏名) 岩田 修自

TEL 045-326-1010

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日

平成22年6月17日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	62,544	13.7	2,529	832.4	2,646	573.8	1,386	734.9
21年9月期第2四半期	54,995	—	271	—	392	—	166	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	26.78	—
21年9月期第2四半期	3.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	84,902	56,484	66.2	1,085.54
21年9月期	79,249	55,553	69.7	1,067.34

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 56,188百万円 21年9月期 55,267百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年9月期	—	10.00			
22年9月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,050	14.1	4,460	155.9	4,680	129.3	2,350	141.3	45.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第2四半期 52,450,969株 21年9月期 52,450,969株

② 期末自己株式数 22年9月期第2四半期 690,636株 21年9月期 670,460株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第2四半期 51,771,931株 21年9月期第2四半期 51,800,695株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 平成22年9月期 第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国や中国を中心とした海外経済の回復を背景に、輸出や生産は増加基調で推移し企業収益の改善も見られ、また、経済対策の効果により耐久消費財を中心に個人消費も持ち直してはいるが、依然として高水準な設備過剰感や雇用・所得環境の悪化に加え、デフレ圧力が継続する厳しい状況で推移しました。

食品関連業界におきましては、厳しい雇用・所得環境が続くなか、消費者の節約志向・低価格志向が依然として継続していることもあり、個人消費は低水準で推移する厳しい事業展開となりました。

このような状況のもと当社グループは、平成20年11月に発表いたしました新中期経営計画（3ヵ年）に基づき、冷蔵倉庫事業部門では多彩な物流サービスの積極展開、食品販売事業部門では原料サプライヤーとしての機能向上を運営方針として、ともに更なるサービスの高度化や新規需要の開拓に積極的に取り組んで業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高62,544百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益2,529百万円（前年同期比 832.4%増）、経常利益2,646百万円（前年同期比 573.8%増）、四半期純利益1,386百万円（前年同期比 734.9%増）の増収増益となりました。

(2) セグメント別の概況

①冷蔵倉庫事業

個人消費低迷や在庫調整の影響により全体的に荷動きが鈍い状況が続く環境下で、ブロック体制を軸としたエリア密着型の集荷活動を展開する一方で、作業効率改善等によるコスト削減に取り組んでまいりました。

前年同期と比べ内貨貨物の取扱量は増加しましたが、外貨貨物の取扱量が減少した影響により、在庫取扱量は前年同期と同水準を維持できましたが、平均保管在庫量は7.1%減少となり売上高は前年同期と比べ減少いたしました。利益面については、収益重視の集荷活動及びコスト削減効果による利益率の向上等により営業利益は前年同期と比べ増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は前年同期比4.8%減収の9,464百万円、営業利益は前年同期比9.2%増益の2,158百万円となりました。

②食品販売事業

国内消費需要の低迷に加え、水産物及び畜肉相場は低水準で推移する販売環境下で、事業部制による徹底した在庫管理と利益率を重視した販売活動とグループ会社との連携強化により増収増益となりました。品目別の状況は、水産品についてはサケ、サバの輸出を中心に主要品目の売上高を伸ばし増収増益、畜産品は供給過剰によりポークの取り扱いが減少するも利益は確保し減収増益、農産品は販路拡大により増収増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高は前年同期比17.8%増収の53,062百万円、営業損益は1,248百万円の営業利益（前年同期は972百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ5,652百万円増加し84,902百万円となりました。これは主に、商品が4,534百万円、売上債権が2,160百万円増加したことや、有形固定資産が653百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ4,722百万円増加し28,418百万円となりました。これは主に、借入金の総額が4,603百万円、仕入債務が453百万円、未払費用が404百万円、未払法人税等345百万円などが増加したことや、未払金が968百万円、社債が150百万円減少したこと等によるものです。また、純資産につきましては前連結会計年度末に比べ930百万円増加し56,484百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前連結会計年度末に比べ856百万円減少の4,337百万円となりました。

当第2四半期におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

①営業キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,997百万円の資金の減少（前年同四半期は1,026百万円の資金の減少）となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益2,585百万円、減価償却費1,513百万円及び仕入債務の増加額453百万円による資金増加と、たな卸資産の増加額4,530百万円、売上債権の増加額2,162百万円及び法人税等の支払額656百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,759百万円の資金の減少（前年同四半期は4,749百万円の資金の減少）となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出1,425百万円と長期前払費用の取得による支出389百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,903百万円の資金の増加（前年同四半期は7,405百万円の資金の増加）となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額4,603百万円による資金増加と、配当金の支払額515百万円による資金減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

「平成21年9月期決算短信」（平成21年11月13日付）で公表いたしました平成22年9月期の通期連結業績予想につきましては、以下のとおり修正いたしました。

売上高127,050百万円、営業利益4,460百万円、経常利益4,680百万円、当期純利益2,350百万円。

なお、詳細につきましては、平成22年5月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,445	5,305
受取手形及び売掛金	16,164	14,003
商品	10,340	5,806
その他	889	489
貸倒引当金	△22	△33
流動資産合計	31,817	25,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,965	22,654
機械装置及び運搬具（純額）	3,696	4,042
土地	17,809	17,170
建設仮勘定	252	606
その他（純額）	555	458
有形固定資産合計	44,279	44,933
無形固定資産		
のれん	1,509	1,600
その他	1,455	1,440
無形固定資産合計	2,964	3,041
投資その他の資産		
投資有価証券	3,991	4,073
長期貸付金	473	647
その他	1,467	1,193
貸倒引当金	△90	△212
投資その他の資産合計	5,841	5,703
固定資産合計	53,084	53,678
資産合計	84,902	79,249

